

【学校教育目標】知・徳・体の調和がとれ、主体的・協働的に行動できる子どもの育成



学校だより

鈴鹿市立愛宕小学校

令和5年9月8日

No. 13



残暑厳しい毎日が続きます・・・

今年の夏は、猛烈に厳しい暑さでした。9月に入りましたが、まだまだ蒸し暑い毎日が続いています。

さて、夏季休業中に、全教職員で熱中症について校内研修会をもち、熱中症の要因や予防方法について確認し、熱中症指数に基づいた対応などについて共通理解を図りました。

運動会（9月30日）までは、体育や外遊びに関して、下記のような対応をとりますので、ご理解ください。



- (1) 体育（運動場・体育館）の授業の直前や授業途中に、授業場所で暑さ指数を測定・記録し、熱中症予防運動指針にそって、授業の可否を判断します。また、こまめな休憩や水分補給を行います。
- (2) 熱中症警戒アラート発令日は外遊びを中止します。アラートが発令されない日でも、朝（8：00頃）と昼休み（13：00頃）に暑さ指数を測定し、暑さ指数が28以上（嚴重警戒や危険レベル）の場合も外遊びを中止します。

また、最近の新聞記事によりますと、

「厚生労働省は9月1日、定点医療機関から8月21日～27日の1週間に報告された新型コロナウイルスの感染者は・・・5月に法的な位置づけが「5類」に移行してから最も多い。【9月2日 中日新聞】」

「三重県は5日、津、四日市、桑名各市の小学校3校で、インフルエンザなどの集団かぜが発生したと発表した。各校で学年閉鎖や学級閉鎖の措置をとる。・・・【9月6日 中日新聞】」

とあり、感染症も心配です。各家庭でも、こまめな手洗いや栄養のバランスのよい食事、十分な睡眠などを心がけ、お子さんの体調管理に努めていただきますようお願いいたします。

◆夏休み、先生たちも勉強しています・・・



夏季休業中、校内・校外で様々な研修会が開催され、自己研鑽を積む機会が多くありました。

7月20日（木）、藤後教諭より、様々な困り感や苦手意識を感じている子の支援についてお話がありました。翌21日（金）、鈴鹿市子ども家庭支援課 吉川佳男先生を招聘し、そういった子たちへの支援・指導のあり方や関係づくりについて、長年の吉川先生自身のご経験をもとに、お話を聞かせていただきました。





7月31日(月), 人権教育アドバイザー 臼杵伸子先生を招聘し, 温かい学級づくり, 仲間づくりについて研修を深めました。事前に各担任が学級の様子についてレポートにまとめ, それを交流・協議しながら, 学級課題や取組についてご助言をいただきました。

8月1日(火), 鼓ヶ浦中学校区・千代崎中学校区の夏季研修会がありました。小・中学校の課題等を共有し, 途切れのない指導・支援につなげるため, 毎年夏季休業中に行っています。愛宕小教員はそれぞれの中学校区に分かれ, 参加しました。どちらも, テーマごとの小グループに分かれ, 話し合いました。小学校間の横の連携, 小中学校間の縦の連携を深めることができました。



8月24日(木), 今年度4月に6年生が実施しました全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて, 教科(国語・算数)に関する強みや弱み, 改善に向けた取組について, 話し合いました。この「学調」結果を踏まえて見えてきました課題や改善策につきましては, 後日改めて, 学校だよりでお伝えいたします。



この他にも, 算数科・国語科, ICT等の校外研修会に個人で参加しています。今後, 校内で還流を行い, 教員のスキルアップ図っていきたいと思います。